

6月に入り、ここいわきでも汗ばむ日が訪れるようになってきました。事務所の内では先月までは上着を着ていたのに、今は上着を脱いで長袖は腕まくりです。移動する車の中ではエアコンの使用が常時になってきました。また、突然に濃霧が発生し、天気が急変することしばしばです。朝晩の寒いくらいの寒暖の差で、体調を崩さないように気をつけながらがんばります。

現在行われている工事の概要と今後の予定

建物基礎解体工事

全体の約97%が終了しました。

井戸撤去工事

現場内の数箇所
井戸撤去の工事を行っています。

高台造成工事

準備工事として、バス道路の一部迂回を実施します。(6/25～)



現在の工事の状況

いよいよ今月から樹木の伐採と仮調整池の築造を開始しました。宅地や防災緑地の盛土材として使われる土を山から運び出す前のステップとして、伐採工事を行います。仮調整池は雨が伐採後の山から地区内に流れ込むのを抑制するための施設です。伐採した樹木は葉・枝・幹・根に分類されて、幹の部分はチップ化されて再利用されることとなります。また伐採した樹木や盛土材を運び出すために仮設の道路も作ります。工事車両は一般車両と同じ道路を通りませんが、交差をする箇所があります。一般車両優先で安全に工事を進めるように心がけています。



仮調整池の築造



伐採作業を終えたところ

ハマナス・ビャクシン挿し木プロジェクト

6月14日「どんぐりプロジェクト」・「苗木プロジェクト」に引き続き、第3弾として「ハマナス・ビャクシン挿し木プロジェクト」が開催されました。当日は天気も良く、集まった地元の皆さんの顔にも、自然と笑みがこぼれていました。今回のプロジェクトは、地区内に生息しているハマナスやビャクシンといった貴重な植物の継承を「挿し木」という方法を用いて、将来に残していくということが目的です。

今回も樹木の専門家である木田先生(樹木医)に講師として参加いただき、地元の皆さん、県、市、UR、JV職員が30名以上集まり、全員和気あいあいの中行われました。木田先生から「挿し木」の指導を受けた後、いよいよ実践です。うまく出来ているのかという一抹の不安も、みんなでやれば・・・で何とか無事に完了しました。復興事業の中の公園や防災緑地に、この挿し木した貴重な「ハマナス」「ビャクシン」が地元の木として大きく育ってくれることを期待しています。



「挿し木」についての指導を受ける参加者



種類別にパレットへ「挿し木」を行う参加者たち

現場事務所連絡先のご案内

安藤ハザマ・五洋・西武・玉野総合・基礎地盤いわき市震災復興事業共同企業体

通称：豊間・薄磯震災復興JV

住所：いわき市平沼ノ内諏訪原1-12-5

電話：0246-98-2610

責任者：最上 登久也(モガミ トクヤ)

渉外担当：大橋 正英